



発行 / 西東京市
編集 / 企画部広報広聴課
〒188-8666
東京都西東京市南町5・6・13

西東京

		前月比
人口	男	90,623人 (1,076人) 78減 (2増)
	女	91,908人 (1,376人) 62減 (7減)
	合計	182,531人 (2,452人) 140減 (5減)
世帯数		80,551世帯 (1,268世帯) 62減 (4減)

カッコ内は外国人登録人口(再掲)

市役所代表電話 / **0424-64-1311**
ホームページアドレス <http://www.city.nishitokyo.tokyo.jp>
(携帯電話) <http://mobile.city.nishitokyo.tokyo.jp>
(Lモード) Lメニューリストから検索できます。

今号の主な内容

3~5面 東京都知事選挙



東京都知事選挙の投票日は、4月13日(日)午前7時~午後8時です。

6面 「支援費制度」が4月から始まります



利用者本位のサービスの実現を目指す、障害福祉の新しい仕組み「支援費制度」の事業所等をご案内します。

7面 市政発展にご尽力いただきました



市政全般にご協力いただいた方々に対する表彰式が2月19日に開かれました。

7面 環境基本計画市民ワークショップを開催



環境審議会でまとめた「答申素案骨子」を基に、広く市民の皆さんのご意見を伺うため、市民ワークショップを開催します。



平成15年市議会第1回定例会で

はじめに
平成15年西東京市議会第1回定例会の開会に当たり、平成15年度の市政執行に関する所見を述べ、市議会並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

21世紀に初めて自主的な対等合併により誕生した本市も、今年で早や3年目を迎え、もはや新市と呼ばれる時期は過ぎつつあると言つても過言ではありません。本年度は、本市の将来を展望する「西東京市基本構想・基本計画」を策定し、さらに魅力あふれるまちづくりを推進していくための、大きな一歩を踏み出す飛躍の年と考えております。しかしながら一方で、複合的な構造要因により景気が低迷し、不良債権・財政赤字を抱え、デフレ状態がさらに深刻化するなど、日本経済の先行きは昨年以上に不透明感を増し、全国各地の自治体においても大幅な税収入の落ち込みなどにより、過去に経験のない厳しい行財政運営を強いられております。このような地方財政を巡る危機的な状況を打開し、地方分権時代における本市の

平成15年度 施政方針

市町村合併のパイオニアとして 21世紀の新しい自治体像の創造へ

独自性を発揮し、さらに前進していくためには、市議会のご理解と幅広い市民の皆様のご参加とご協力をいただきながら、市長である私自身が先頭に立ち、全ての課題に誠心誠意取り組んでいくことが、私に課せられた使命であると認識しております。

このような基本的な認識のもとに、私は本年を飛躍の年と位置付けるべく、次の4つの主要な施策について重点的に取り組んでまいります。

第一は、先ほど申し上げました「西東京市基本構想・基本計画」いわゆる総合計画の策定であります。これまでは新市建設計画を市政運営の基本方針としてまいりました。総合計画は新市建設計画を基本としつつ、さらに将来の時代潮流や市民ニーズの多様化など、本市を取り巻く行政需要を的確に把握し、地域における都市の将来像を描いたうえで、それを実現するための計画課題を体系的に取りまとめた総合的な計画であります。これまで、市民参加による総合計画策定審議会における議論や市民意識調査のほか、幅広い世代のご意見を頂いてまいりましたが、今後はこれらの検討結果を踏まえ、本年度の早いうちに中間まとめを作成し、さらに広範な市民の皆様のご意見を伺いながら、9月を目標に策定してまいりたいと考えております。

総合計画策定までの間、市政運営の中心的役割を果たしてまいりました新市建設計画につきましても、事業の進捗とともに合併効果を実現しつつあります。4大事業で

は、コミュニティバスである「はなバス」が昨年3月より運行を開始し、12月2日には利用者50万人を達成することができました。爽快なブルーのバスが西東京市の顔として、広く市民の皆様に愛されるよう、なお一層利用者の立場に立った運行を目指してまいります。

同じく、新市誕生のシンボルとなる(仮称)合併記念公園につきましても、昨年度までに用地買収と実施設計を終了いたしました。この間、市民主体により計画を進めてまいりましたが、市民の皆様に愛される公園の実現に向けて本年度より、いよいよ築造工事に着手いたします。

また、地域情報化の推進につきましても、図書館蔵書の検索・予約システムと公共施設の予約管理システムを導入いたしました。今後は、国の推進する「Japan戦略」や東京都の「電子都庁推進計画」を踏まえ、個人情報保護のセキュリティ対策を徹底しつつ、透明性の高い身近で便利な電子自治体の実現と、時間や地域を超えて世代を超えたコミュニケーションの活性化に向けた情報通信技術の活用にも努めてまいります。



はなバスは利用者50万人を突破

このほかにも、けやき小学校の9月新校舎移転に向け、現在、建設工事を進めております。この小学校は、良質な教育環境を提供することに多量に、生涯学習や地域活動など、市民の皆様にご活用いただくためのさまざまな学習機能を併せ持った、新しい発想から誕生する学校であります。また、地域コミュニティの醸成を目的としました上向台地区会館および東伏見コミュニティセンターが本年1月にオープンし、地域の活動拠点としてご利用いただいております。このように、新市建設計画も着実に事業実績を積み重ね、徐々にではありますが、市民の皆様のご身近なところに浸透しつつあるものと理解しております。

第二は、市民一人ひとりの生活に結びついた快適な都市空間の創出であります。まず、念願の田無都市計画道路3・4・9号線が本年度開通する見込みとなり、これによりまして、ひばりヶ丘駅へのアクセスが格段に向上するほか、周辺道路の交通渋滞の緩和や歩行者の安全確保に寄与するものと期待されております。このほかにも、保谷都市計画道路3・4・8の1号線や保谷3・4・12号線など都市計画街路整備事業を促進してまいります。また、東京都の重点事



田無都市計画道路3・4・9号線

業と位置付けられました調布保谷線につきましても、都と本市が連携を密にし、事業の推進に努めてまいります。福祉のまちづくりにおける観点からは、西武池袋線ひばりヶ丘駅および西武新宿線東伏見駅へのエレベーター・エスカレーターへの設置によるバリアフリー化を進め、駅利用者の利便性の向上を図ってまいります。

第三は現在の少子・高齢化社会における子育て世代への支援と高齢者の方々への施策の充実であります。まず、子育て支援施策であります。本年10月より乳幼児医療費助成制度の3歳未満の所得制限を撤廃し、無料化を実施することで、子育てにおける負担の軽減を図るほか、子ども家庭支援センターを開設し、子どもと家庭に関する総合的な相談機能を充実してまいります。また、絵本と子育て事業と銘打ち、3〜4か月児健康診査の際に絵本をプレゼントし、幼い頃から本に親しんでもらう環境を提供してまいります。この事業は、絵本を通じた乳幼児への情操教育と、本を読み聞かせることによる親子のスキンシップを目的として実施するものであります。高齢福祉施策では、痴ほう性高齢者グループホームを昨年度に引き続き1か所整備し、高齢者の地域における自立支援を行ってまいります。また、昨年度より、小学校2地区をモデルに検討いたしております。高齢者見守りネットワーク事業を充実させ、今後、順次小学校区ごとに地域一体となって共に支え合う、高齢者安否確認の仕組みの充実を図ってまいります。このほかにも、障害福祉施策では、国の方針が措置から契約へと大きく変わることにより、利用者が自分の意思によりサービスを選択できる支援費制度が、障害者施策の新たな仕組みとして、介護保険に続いて本年4月から導入されます。